

# プロに教わる糸鋸体験

～三重県産の杉材を使ってメモスタンド作り～

こもはら  
名張市立薦原小学校



ねらい

- ・森林のはたらきや大切さ、森林の現状を学び、地域の木を使うことが地域の森林を元気にすることを理解する。
- ・身近なものを製作することにより、木に親しみ、木の良さを感じる。プロから糸鋸の使い方を教わり、実際に使えるようになる。

はじめに、子どもたちは、三重県農林水産部発行の森林環境教育副読本「三重の森林とわたしたちの暮らし」を使って、森林のはたらきや大切さ、緑の循環について理解を深め、地域の木を使うことが地域の森林を元気にすることを学びました。また、三重県では平成26年度から「みえ森と緑の県民税」を導入し、災害に強い森林づくりと県民全体で森林を支える社会づくりを進めていることも聞きました。



次に、糸鋸で木のおもちゃを製作している講師から、おもちゃを木で作ることへの思いを聞いた後、糸鋸の使い方を教えてもらいました。プロの説明は、使い方のポイントが分か

りやすくさすがでした。

始めは、教わった通りに行かず苦戦していましたが、少しずつ要領を得て、皆が自分でデザインした形を切り抜き、サンドペーパーで磨き上げ、メモスタンドを完成させました。

## プログラム概要

内容	・森のお話 ・メモスタンド作り
時間	3時間
場所	小学校理科室
対象	5年生 15人
講師	森のせんせい：菊岡哲氏
備考	「みえ森と緑の県民税」を活用した森林環境教育出前授業